

【基本教育科目/思考力の養成】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
創造思考法		必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
堤 美智	413	michi.tsutsumi	水曜 12:00～12:50		
授業の目的・概要	これまでに獲得した知識、技能、態度などを総合的に活用しながら、受講生が理論的に思考し、議論することを目指す。各自の学習課題を設定し、資料収集や分析、報告、意見交換を行う。自己の考えを展開することについて学習するとともに報告書の作成を通して、卒業後も自律・自立して学習できる態度を身に付ける。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> アレクシテーション <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	受講者は、『統計でみる日本』を輪読、関連する資料を理解、分析し、学んだことを報告する。次の段階では各自で関心あるテーマを見つけ、地域社会や医療・看護・介護・福祉の組織の現場で創造的に問題解決していく個人の力を養成し、文献や参考資料を購読、報告する。国内外の問題にも関心を持ち分析する力をみにつける。今後、自らが活躍する地域で、活用できるように取り組む。				
教科書	『統計でみる日本2022』一般財団法人日本統計局				
参考書	なし				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	おかれた状況の中で、課題を設定できる。		NS(2)(5) HSU(3)(4)(5)		
②	課題について探求 (情報収集・分析・考察・アイデア発想など) できる。		NS(2)(5) HSU(3)(4)(5)		
③	集団での意見交換等により、ものごとを多面的な視点から考えることができる。		NS(2)(5) HSU(3)(4)(5)		
④	集団での合意形成に基づく、課題解決に取り組むことができる。		NS(2)(5) HSU(3)(4)(5)		
⑤	課題の探求経過と結果について筋道を立ててプレゼンテーションできる。		NS(2)(5) HSU(3)(4)(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	ガイダンス: レジメ、レポート、プレゼンテーションの作り方	講義	指定された教科書に目を通す。復習学習として、今後の発表準備を考え、プレゼンテーションの準備をする。	4	
2	統計でみる日本 2021 第 1 章	演習・GW	指定された教科書第 1 章を読んでくる。復習学習として、講義にて議論した内容を振り返る。	4	
3	統計でみる日本 2021 第 2 章: 人口問題意識・把握トレーニング	演習・GW	指定された教科書第 2 章を読んでくる。また、興味のある研究領域を考へてくる。復習学習として、講義にて議論した内容を振り返る。	4	
4	統計でみる日本 2021 第 3 章: 家族・世帯個別報告/プレゼンテーション (1)	演習・GW 発表	指定された教科書第 3 章を読み、疑問点を書き出す。復習学習として、講義にて議論した内容を振り返る。	4	
5	統計でみる日本 2021 第 4 章: 地域社会個別報告/プレゼンテーション (2)	演習・GW 発表	指定された教科書第 4 章を読み、疑問点を書き出す。復習学習として、講義にて議論した内容を振り返る。	4	
6	統計でみる日本 2021 第 5 章: 家計と暮らし個別報告/プレゼンテーション (3)	演習・GW 発表	指定された教科書第 5 章を読み、疑問点を書き出す。復習学習として、講義にて議論した内容を振り返る。	4	
7	統計でみる日本 2021 第 6 章: 物価・地価個別報告/プレゼンテーション (4)	演習・GW 発表	指定された教科書第 6 章を読み、疑問点を書き出す。復習学習として、講義にて議論した内容を振り返る。	4	
8	1 回目から 7 回目までの講評情報・資料収集・分析トレーニング	演習・GW 発表	これまでの講義で報告した資料と討論した内容を分析する。復習学習として、今後の研究テーマとなりうる材料 (資料) を収集する。	4	
9	統計でみる日本 2021 第 7 章: 生活一般個別報告/プレゼンテーション (5)	演習・GW 発表	指定された教科書第 7 章を読んでくる。復習学習として、講義にて議論した内容を振り返る。	4	
10	統計でみる日本 2021 第 8 章: 健康・医療個別報告/プレゼンテーション (6)	演習・GW 発表	指定された教科書第 8 章を読んでくる。復習学習として、講義にて議論した内容を振り返る。	4	
11	統計でみる日本 2021 第 9 章: 社会保障・福祉個別報告/プレゼンテーション (7)	演習・GW 発表	指定された教科書第 9 章を読んでくる。復習学習として、講義にて議論した内容を振り返る。	4	
12	統計でみる日本 2021 第 10 章: 教育個別報告/プレゼンテーション (8)	演習・GW 発表	指定された教科書第 10 章を読んでくる。復習学習として、講義にて議論した内容を振り返る。	4	
13	統計でみる日本 2021 第 11 章: 文化・芸術個別報告/プレゼンテーション (9)	演習・GW 発表	指定された教科書第 11 章を読んでくる。復習学習として、講義にて議論した内容を振り返る。	4	
14	統計でみる日本 2021 第 12 章: 余暇活動・労働と賃金 個別報告/プレゼンテーション (10)	演習・GW 発表	指定された教科書第 12 章を読んでくる。復習学習として、講義にて議論した内容を振り返る。	4	
15	統計でみる日本 2021 第 13 章: 国民経済総合討論	演習・GW 発表	指定された教科書第 13 章を読んでくる。復習学習として、これまでの討論を振り返り、研究テーマを絞る。	4	
試	定期試験は行わない				

【基本教育科目/思考力の養成】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポータル	その他	合計
		0	20	50	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	10	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	10	10	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	15	0	5	20
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	20	25
問題を発見・解決する力		0	10	0	0	5	15
評価の方法		行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	授業初めに各章のレポートを毎回提出する。				評点評価と簡潔なコメントを加え、返却する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	学習課題をまとめ成果を報告する。				講評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
ポータル	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の授業に主体的に参加し、積極的に発言することにより他者の意見に真摯に傾聴することが大切である。				評価
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教 員 の 実 務 経 験		担当教員は大学における教育経験を 10 年以上有したものであり、専門地域調査士の免許を持つ。					
実践的授業の内容		各回にて教科書を輪読し、各章からの疑問・課題をグループで話し合い、発表し、受講生全員で討論する。講義への積極性を評価する。授業の最後に授業の感想を言い、次の授業に反映させながら進めることで、学生と教員が協働作業で授業を創造していく。オンライン授業の場合は課題の提出とその内容によって判断する。					
そ の 他		シラバスは将来変更される可能性があるので、注意すること。また感染拡大を防ぐために自身のマスクが必要になる。マスクをもっていない学生は入室不可。					